



## ■ビニールカーテンの加工方法

### 立案、設計上の注意点

天井または壁の材質を確認し、カーテンレールやフラットバーが固定できることを確かめます。大きな面積を仕切る場合、1枚のカーテンは10～15kg程度の大きさを分割する方が、施工が簡単です。(比重1.3) ソフトパーティションの素材は、PVC フィルムであり熱収縮、加工の性質上寸法精度が上がらないことが多いので、寸法の許容範囲を大きく取っておきます。また、パイプや配線口等は、現場合わせとすることが望ましいです。

### カーテン上部

●固定式…天井、壁、機械設置等に固定して使用する場合、カーテン上部は折り返し、補強した上でフラットバーやLバーでビス止め固定します。

●可動式…カーテンを両開き、片開きなど可動式で使用する場合、カーテン上部は折り返し、補強したあとハトメを打ち(通常ピッチ100～300mm)、フックでカーテンレールに取り付けます。

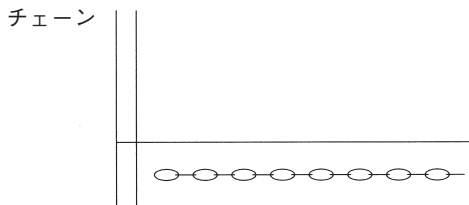
カーテン上部の隙間は、上飾りを取り付けます。

### カーテン下部

●固定式…床面、壁、機械設置等に固定して使用する場合、カーテン下部は折り返し、補強した上でフラットバーやLバーでビス止め固定します。

●可動式…カーテン下部は、

- ①裁断したままの状態、
- ②折り返し加工、
- ③折り返し後カーテンのゆらぎを抑えるため、チェーン(150g/m程度)を入れるなどの処理をします。ゴムの丸棒(たとえば25φ×300L)を入れることもあります。



### カーテン両サイド

●固定式…壁、機械設備等に固定して使用する場合は、

- ①マジックテープで着脱できるように固定します。
- ②ビニールテープで固定します。
- ③フラットバーやLバーでビス止め固定します。

●カーテン同士の接続…

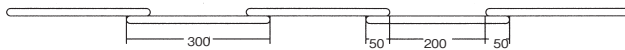
- ①マジックテープで着脱可能にします。
- ②ビニールテープで固定します。
- ③ファスナーを取り付けて着脱可能にします。

### カーテンの出入り口

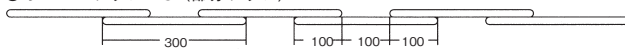
- ①カーテン自体を可動式にし、両開きや片開きとして出入り口にします。
- ②ファスナーまたはマジックテープで開口部を作り、出入り口にします。
- ③300mm程度のスリットカーテンをのれん状に重ねて出入り口にします。

シート幅300mmの場合(外部との開口部用)

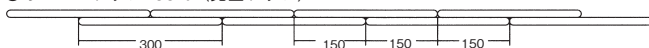
●オーバーラップ1/3(部分ラップ)



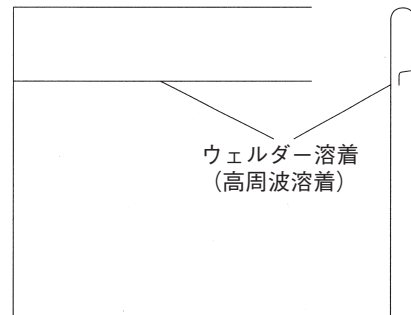
●オーバーラップ2/3(部分ラップ)



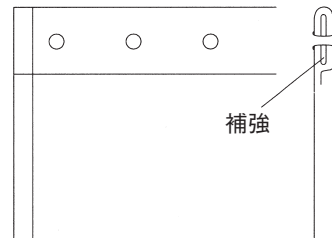
●オーバーラップ100%(完全ラップ)



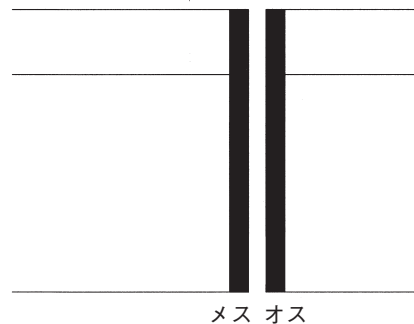
折り返し



ハトメ打ち

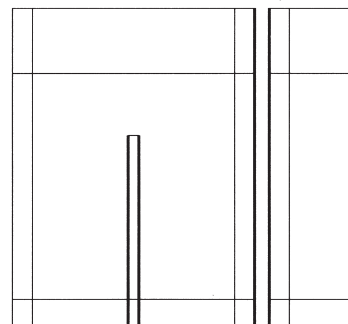


マジックテープ



ファスナー

オープンファスナー



マグネット

